

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 熊澤 利和	(学部)地域政策学部
1 重要事項 1) 成果説明 (大要) (1) 【教育、研究、社会貢献等の分野】 平成 26 年度の教育、研究、社会貢献等の分野に関する成果は、以下に集約される。これまでターミナルケアにおける終末期鎮静関連するヒアリング調査結果を仏教看護・ビハール学会で報告を行った。それに関連した研究課題に対して、科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)を下記の研究課題名及び期間に補助金による研究助成を受け研究を展開している。 研究課題名：緩和医療における選択・決定の価値と公平性に関する方角的・実証的研究 補助事業期間：平成 25 年度～平成 27 年度 研究代表者：熊澤利和 (2) 【学内業務の分野】 学内業務の分野では、 ①地域づくり学科長、実習運営委員長として学部学科の運営にあたった。また新カリキュラムが実施され教務委員長の補佐を行ってきた。 新カリキュラムでは、平成 26 年 11 月 19 日(水)「やさしい眼差しに満ちた市政」講師：福祉部子育て支援担当部長谷川浩氏 保健医療部長 歌代典彦氏の時に事前調整・講義時、成績の評価の担当をした。 (3) 【学会報告等】 ①日本地域政策学会第 12 回全国研究大会 第 4 分科会(医療・福祉)「地域福祉計画の意義と今後の展望」― 地域福祉計画はどうあるべきか ― 分科会座長 開催日時：2014 年 7 月 12 日(土)～13 日(日) 開催場所：金沢星稜大学 ②仏教看護・ビハール学会第 10 回年次大会 研究報告 日本的看取りの再構築に関する研究 ―緩和医療における"Terminal Sedation"の課題から― (その 3) 開催日時：2014 年 8 月 29 日(金)～31 日(日) 開催場所：善光寺大本願 ③日本地域政策学会第 12 回全国研究大会 個別報告(1 日目) 第 4 部会 コミュニティ 司会 開催日時：2014 年 7 月 12 日(土)～13 日(日)	

開催場所：金沢星稜大学

(4) 【研究報告等】

①研究ノート

単著 「精神障害者の地域移行・地域生活支援の課題と政策(1)」 地域政策研究（高崎経済大学） 第17巻第4号 81頁～91頁 2015

②書籍

共著 熊澤利和「わが国における環境研究の動向と展開」高崎経済大学地域政策研究センター編 『環境政策の新展開』 勁草書房 19頁～49頁 2015年

【学会関連】

①仏教看護・ビハーラ学会理事（継続 2013年4月1日～2016年3月31日）

②日本地域政策学会幹事（新規 2014年7月～2016年6月）

③大正大学社会福祉学会事務局長（継続）

【社会活動】

①高崎市社会福祉審議会 身体障害者福祉専門分科会長（継続 平成26年4月～平成29年3月31日）

②福祉サービス評価推進センターぐんま 調査・研究専門員（継続 平成26年4月1日～平成28年3月31日）

2 その他の事項

1) 本学敷地内空間放射線量測定の実施

2011年11月2日より、定期的（月1回）に本学敷地内における空間放射線量測定（定点観測）を実施している。（現在継続中、予定として3年間実施、その時点で見直しを行い。教員の飯島と熊澤で判断し継続し測定を実施している。）

測定は、地域政策学部 飯島明宏 熊澤利和、総務グループ財務チームの水野、宮澤で実施している。

測定結果は、本学ホームページ→キャンパスライフ→健康管理→空間放射線量測定結果から閲覧することができる。

URL: <http://www.tcue.ac.jp/life/health/kansoku.html>（2015年4月25日現在）

2) 講義の方法について

担当科目すべてにおいて、行政、医療、福祉等に関連する動向を紹介している。各講義時間に対してそのための情報収集とそれを基にして講義の準備に、1回の講義に対して、同じ程度（またはそれ以上）の準備時間を費やした。